

GAP通信 第9号

2019年11月23日発行

特集 GAPでオリパラ食材提供を 目指せ！



写真：点検シートなどの書類を確認中



↑出荷場・JAでも調査しました。

高知県版GAPに取り組んでいる、米ナス、カラピーマン、シントウ部会では、9月25日に部会員の代表として9名が第三者からの確認を受けました。その結果、れいほく園芸部でのGAPの取組が認められ、3品目の部会から食材を提供する準備が整いました。

その際の指摘事項を本号で紹介します。

**東京2020大会の食材供給に向けて
れいほく園芸部3品目部会の準備完了**

2020年には、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。世界中の国と地域から多くの選手やメディア関係者、観客などが日本を訪れます。

大会では、「より良い未来へ、ともに進もう」をコンセプトに掲げ、持続可能な社会を目指しています。そのため、提供される農産物はGAPの認証取得が求められています。

**東京2020大会の持続可能性コンセプト
「より良い未来へ、ともに進もう」**

現地確認での指摘事項

case1.農薬の保管方法

①期限切れ農薬を
間違って使用しないようにしているか



←期限切れ農薬を処分するまでの間、期限切れがわかるよう標記し、誤使用を防ぐ。

②劇物表示があるか



←劇物指定農薬は「医薬用外劇物」を表示した鍵のかかる場所で保管する。

case3.農薬散布時の服装

農薬容器のラベルで指示されている装備を着用する



農薬容器のラベルには、マスク、手袋、メガネ、不浸透性の衣服の着用などを義務づけるマークが記載されている。

散布時には、適切な装備を着用し、他の作業服とは区別して使用する。着用した衣服は別にして洗濯し、収穫物から離れた場所で干す。

case2.収穫物(コンテナ)の置き場

肥料や農薬が付着しそうな場所では、汚染対策をする



収穫物や出荷用のコンテナは、農薬タンク・動力噴霧器や肥料・堆肥と離して保管する。離せない場合には、覆いや仕切りを作る。また、コンテナは地面に直置きせず、パレットなどを敷き、小石や砂が入りにくいようにする。

case4.燃料の保管方法

火災対策がとれているか



燃料は火災が発生しないよう、静電気が逃げやすいコンクリートなどの素材の上で保管し、周辺には燃えやすい物を置かない。

また、高い場所での保管を避け、振動などで落下しないようにし、中身がこぼれた場合には新聞紙などで吸着する(燃料の近くには置かない)。

毎月11日はGAPの日

オリンピック・パラリンピックを機会に、多くの人に認められ、信頼される産地を目指して、れいほく園芸部のGAPの取組を向上させましょう。

10月25日までに指摘された内容を是正して報告します。改善が認められると高知県第三者確認制度に登録され、オリンピック・パラリンピックに食材提供する資格を得ることができます。今後、食材調達を依頼された場合には、出荷することができま

今後の取組

- ① 基肥の記録が残されているか
- ② 収穫した量が把握できるか
- ③ 家庭用殺虫剤が作業場で使用されていないか
- ④ 農薬の計量時には、正確に計る器具を使用しているか

その他の指摘事項